

今日のおおたか中 令和2年5月27日（水）

身近なものから歴史をたどってみる ～文字の歴史～

みなさんの身の回りには様々なものにも歴史があります。例えば、みなさんの机の上にあるもの。筆箱、鉛筆、消しゴム、……昔の人は、どうやって文字を書いていたのでしょうか？

☆古代の文字

2・3年生の皆さんはもう学習しましたね。古代文明、覚えていますか？水辺の近く、文明の発達した地域には文字が生まれました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、中国の甲骨文字など。

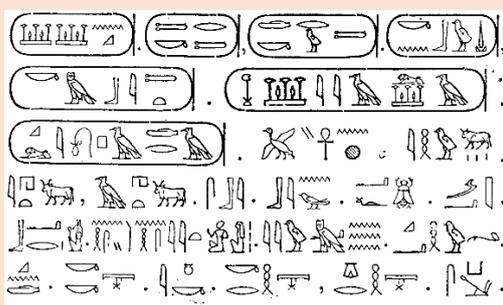
現代の日本では当たり前のように読み書きされる文字ですが、古代では文字を読み書きできる人は一握りしかいませんでした。それは**特に高い地位を持つ人々であり、彼らは記録係として重要な役職を担っていたのです。**紙やペンはないので、木や石、骨を削ったり、粘土に刻みつけることによって、文字を書いていたのです。（古代エジプトでは、「パピルス」という紙のようなものが登場します！）

さて、彼らは文字を何のために用いていたのでしょうか。なぜ本があるのかを考えてみるといいでしょう。私たちは本を読んで知識を得ますね。**誰かに何かを伝えるため、また後世に記録を残すためです。**

占いの結果、農業の豊作・不作、災害、王の権威、……伝えること、残すべきことはたくさんあります。

文字はどんどん発展し、私たちの使う漢字やかな文字、アルファベットなどが生まれていったのですね。

○どれがどこの文字かわかるかな？



🕒文字のない文明、インカ帝国

かつて南アメリカ大陸に栄えた文明、インカ帝国。彼らの文明には文字がありませんでした。では、彼らはどうやって記録を残したのでしょうか。ヒント🕒は、右の画像です。さて、興味のある人はぜひ自分で調べてみてください。



インカの人々は、これを使って記録を残しました。いったいこれは何だろう？